

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月10日

上場会社名 株式会社SEED

上場取引所 東

コード番号 1739 URL <http://www.seed-kvoto.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡橋 成泰

問合せ先責任者 (役職名) 管理部 グループ長 (氏名) 七海 不二男 TEL 075-595-1311

四半期報告書提出予定日 平成26年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	3,233	△3.5	△28	—	△43	—	△58	—
25年3月期第3四半期	3,351	△9.3	△82	—	△101	—	△101	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 △58百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 △101百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	△46.44	—
25年3月期第3四半期	△89.48	—

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、平成25年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	2,497	498	19.9	393.24
25年3月期	2,338	506	21.7	445.22

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 498百万円 25年3月期 506百万円

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、平成25年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,900	27.2	75	—	40	—	30	—	23.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、平成26年3月期の1株当たり当期純利益については当該株式分割調整後の金額を記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	1,360,000 株	25年3月期	1,230,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	92,000 株	25年3月期	92,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	1,253,818 株	25年3月期3Q	1,138,000 株

(注)当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。
これに伴い、平成25年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想の利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済政策への期待感などから、円安、株価上昇が進行し、景気回復の兆しが見えてまいりました。しかしながら、海外景気の下振れリスクは依然として払拭されておらず、先行き不透明な状況の中で推移いたしました。

建設業界におきましては、公共投資の増加や、消費増税や相続増税に対する駆け込み需要などから需給バランスが逼迫し、労務費及び建設資材が高騰しており、依然として厳しい経営環境が続いております。

当社グループにおきましては、主な事業エリアである京都市内及び滋賀県内の貸家新設着工件数が前年同期比で増加する市場環境下にあるものの、依然として厳しい受注競争を強いられました。

このような状況のもとで、業績につきましては売上高は3,233,407千円（前年同四半期は3,351,676千円）、利益面については営業損失28,552千円（前年同四半期は82,184千円）、経常損失43,929千円（前年同四半期は101,506千円）、四半期純損失58,227千円（前年同四半期は101,831千円）、工事受注残高については4,192,274千円（前年同四半期は2,184,217千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資 産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて17.0%増加し、1,345,550千円となりました。これは、受取手形・完成工事未収金等が99,016千円及び仕掛販売用不動産が252,001千円それぞれ増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて3.1%減少し、1,151,708千円となりました。これは、建物及び構築物が25,872千円減少したことなどによります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて6.7%増加し、2,497,259千円となりました。

(負 債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて25.6%増加し、1,361,363千円となりました。これは、支払手形・工事未払金等が53,660千円及び短期借入金が85,500千円、未成工事受入金が159,037千円、不動産事業受入金が40,000千円それぞれ増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて14.8%減少し、637,267千円となりました。これは、社債が25,000千円、長期借入金が67,494千円それぞれ減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて9.1%増加し、1,998,630千円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.5%減少し、498,628千円となりました。これは、利益剰余金が58,227千円減少したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今年度通期の売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益の連結業績予想については平成25年5月10日に公表しました通りであります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	848,721	643,826
受取手形・完成工事未収入金等	199,484	298,500
未成工事支出金	31,088	74,047
仕掛販売用不動産	19,121	271,122
繰延税金資産	5,548	2,919
その他	46,759	57,552
貸倒引当金	△1,198	△2,418
流動資産合計	1,149,525	1,345,550
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	561,819	535,947
その他(純額)	2,470	1,917
土地	333,355	333,355
リース資産(純額)	143,688	138,924
有形固定資産合計	1,041,333	1,010,145
無形固定資産	14,524	12,242
投資その他の資産		
その他	141,217	137,353
貸倒引当金	△8,050	△8,032
投資その他の資産合計	133,166	129,321
固定資産合計	1,189,024	1,151,708
資産合計	2,338,550	2,497,259
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	429,378	483,038
短期借入金	280,000	365,500
1年内返済予定の長期借入金	109,992	94,992
1年内償還予定の社債	50,000	50,000
リース債務	4,703	4,816
未払金	56,090	27,217
未払法人税等	5,132	7,132
未成工事受入金	46,747	205,784
不動産事業受入金	—	40,000
賞与引当金	8,128	—
完成工事補償引当金	13,510	13,630
工事損失引当金	5,939	4,276
その他	74,245	64,975
流動負債合計	1,083,869	1,361,363

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
固定負債		
社債	50,000	25,000
長期借入金	203,516	136,022
リース債務	145,784	142,157
退職給付引当金	36,219	35,275
預り保証金	93,309	94,959
長期未払金	164,092	152,721
資産除去債務	8,086	8,199
その他	47,008	42,931
固定負債合計	748,017	637,267
負債合計	1,831,887	1,998,630
純資産の部		
株主資本		
資本金	260,782	285,878
資本剰余金	226,282	251,378
利益剰余金	54,559	△3,668
自己株式	△34,960	△34,960
株主資本合計	506,663	498,628
純資産合計	506,663	498,628
負債純資産合計	2,338,550	2,497,259

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	3,351,676	3,233,407
売上原価	3,115,711	3,002,228
売上総利益	235,964	231,178
販売費及び一般管理費	318,149	259,731
営業損失(△)	△82,184	△28,552
営業外収益		
受取利息	173	62
受取手数料	1,414	147
受取保険金	2,582	—
助成金収入	—	400
その他	1,268	437
営業外収益合計	5,438	1,047
営業外費用		
支払利息	21,088	13,722
その他	3,671	2,702
営業外費用合計	24,760	16,424
経常損失(△)	△101,506	△43,929
特別損失		
固定資産除却損	10	5,872
特別退職金	3,829	—
特別損失合計	3,839	5,872
税金等調整前四半期純損失(△)	△105,346	△49,802
法人税、住民税及び事業税	891	8,494
法人税等調整額	△4,405	△68
法人税等合計	△3,514	8,425
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△101,831	△58,227
少数株主利益	—	—
四半期純損失(△)	△101,831	△58,227

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△101,831	△58,227
四半期包括利益	△101,831	△58,227
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△101,831	△58,227
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年5月1日付で、株式会社三栄建築設計から第三者割当増資の払込を受けました。

この結果、第3四半期連結累計期間において資本金が25,096千円、資本準備金が25,096千円増加し、第3四半期連結会計期間末において資本金が285,878千円、資本剰余金が251,378千円となっております。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	建設事業	不動産事業	不動産賃貸 管理事業	戸建分譲事業	計	
売上高						
外部顧客への売上高	2,776,520	4,846	452,040	—	3,233,407	3,233,407
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,776,520	4,846	452,040	—	3,233,407	3,233,407
セグメント利益又は損失 (△)	39,711	4,846	67,977	△10,320	102,215	102,215

(注) 第1四半期連結会計期間より、戸建分譲事業を開始したため、報告セグメントを追加しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	102,215
「その他」の区分の利益	—
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△130,767
棚卸資産の調整額	—
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△28,552

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。